

感染症流行予測調査（平成17年度）

藤井理津志，西島倫子，濱野雅子，葛谷光隆，山口 弘*（ウイルス科）

*保健福祉部健康対策課

Surveillance of Polio in Okayama Prefecture (2005-2006)

Ritsushi Fujii Michiko Nishijima, Masako Hamano, Mitsutaka Kuzuya and Hiroshi Yamaguchi

【資 料】

感染症流行予測調査（平成17年度）

藤井理津志, 西島倫子, 濱野雅子, 葛谷光隆, 山口 弘*（ウイルス科）

*保健福祉部健康対策課

Surveillance of Polio in Okayama Prefecture (2005-2006)

Ritsushi Fujii Michiko Nishijima, Masako Hamano, Mitsutaka Kuzuya and Hiroshi Yamaguchi

[キーワード：感染症, サーベイランス, ポリオウイルス]

[Keyword : infectious disease, surveillance, polio virus]

1 はじめに

本調査は厚生労働省委託事業の感染症流行予測調査の一環として行われている。本年度岡山県ではポリオの感染源調査を実施したので、その結果について報告する。

2 材料及び方法

感染症流行予測調査実施要領（平成17年度）及び伝染病流行予測検査術式（平成7年度）¹⁾に従って実施した。

岡山市内のT保育園の健康な園児60人（0～1歳20人, 2～3歳20人, 4～6歳20人）からポリオ生ワクチン投与後2ヶ月以上経過した平成17年7月30日～8月16日の期間に糞便を採取し、FL細胞及びRD18S細胞を用いてポリオウイルスの分離を行った。

3 結果及び考察

表1に年齢群別ポリオ及びその他のウイルス分離成績を示す。ポリオウイルスの分離はすべて陰性であった。その他のウイルスとしてコクサッキーウイルスA9型（CA9）7株（1歳児3人, 2歳児2人, 4歳児2人）、コクサッキーウイルスB3型（CB3）2株（1歳児2人）、エコーウイルス3型（E3）1株（5歳児1

人）及びアデノウイルス2型（AD2）1株（1歳児1人）が分離された。

CA9は岡山県内の感染症発生动向調査（平成17年度）では分離されなかったが、全国的（平成17年度）には7月～10月に多く分離され、コクサッキーウイルスA型の中ではコクサッキーウイルスA6型、コクサッキーウイルスA16型について3番目に報告数が多かった²⁾。

CB3は岡山県内の感染症発生动向調査では分離されなかったが、全国的には6月～11月に多く分離され、コクサッキーウイルスB型の中では最も報告数が多かった²⁾。

E3は岡山県内の感染症発生动向調査では分離されなかったが、全国的には6月～8月に多く分離され、エコーウイルスの中ではエコーウイルス9型について多く報告された²⁾。

AD2は岡山県内の感染症発生动向調査では4, 5, 6, 7, 12月に各1株ずつ分離されているが、全国的にも3月を除いて年度を通じて多く分離され、アデノウイルスの中ではアデノウイルス3型について報告数が多かった²⁾。全国的な分離状況を考えると、年度を通じて本県にも本ウイルスの浸淫があったと考えられる。

文 献

- 1) 厚生省保健医療局 エイズ結核感染症課・国立予防衛生研究所流行予測事業委員会：伝染病流行予測検査術式, 1995
- 2) 国立感染症研究所, 厚生労働省健康局, 結核感染症課：病原微生物検出情報, Vol.27, No.3, 80, 2006

表1 年齢群別ポリオ及びその他のウイルス分離成績

年齢群 (歳)	検体数	ウイルス分離					合計
		ポリオ	CA9	CB3	E3	AD2	
0～1	20	0	3	2	0	1	6
2～3	20	0	2	0	0	0	2
4～6	20	0	2	0	1	0	3
合計	60	0	7	2	1	1	11